

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

【東北選出国會議員と子ども園関係者による勉強会】



2023.9.13

東北選出国會議員とこども園関係者による勉強会を開催いたしました。

まずは、小倉将信前内閣府特命大臣（こども政策担当）のビデオメッセージ。

参加議員の挨拶の後、東北地区を代表して田頭会長より「子ども子育てのより良い環境の構築」ということで、東北地区が抱える問題についてスライドにて説明があり、参加者の自己紹介及び現場の状況を一人一人熱く訴えました。その後、短い時間ではありましたが、神田代議士と意見交換をさせていただきました。我々が訴えるだけでなく、神田議員から現場の状況について教えて欲しいと質問を受けたり、とても意義深い時間になったと思います。

主な内容

- 東京の課題が全国の課題となっているが、地方の課題は更に大変である。
- 処遇改善の事務負担の軽減策を講じてほしい。
- 組織運営を成り立たせるための職員配置人数を考慮して欲しい。
- 出生数が一人、二人の自治体にいる。少子化の状況は地方と都市部では全く異なる。
- 物価高騰問題～自治体を超えた広域入所の壁もある。
- 人手不足問題～特に地方は顕著である。

北海道地区に続き、東北地区の勉強会、認定こども園子ども子育て政治連盟では、こうした勉強会を定期的開催し、私たち現場の意見を直接届けることができるよう活動してまいります。

議員の方からも、「東北地区で集まり、協議することは大事だ」という、お言葉も頂きましたし、都市部と地方の格差や現状について、知ってもらえる機会となるので、引き続き議員の皆様と協力し、子どもと家庭を支えるための取り組みを進めていく意義ある活動を行ってまいります。

速報

第二次岸田第二次改造内閣において、今回、標記勉強会の担当窓口としてご尽力いただいた神田潤一議員(衆・青森2区)が内閣府大臣政務官に、同じく参加して頂いた滝沢求議員(参・比例区青森)も、環境副大臣兼内閣府副大臣に就任なされました。

就任おめでとうございます。



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

出席者



衆議院 青森2区
神田潤一議員



衆議院 福島2区
根本 匠議員



参議院比例区青森
滝沢 求議員

代理出席

衆・青森1区	江渡 聡徳議員秘書
衆・青森3区	木村 次郎議員秘書
衆・岩手3区	藤原 崇 議員秘書
衆・秋田1区	富樫 博之議員秘書
衆・秋田2区	金田 勝利議員秘書
衆・秋田3区	御法川信英議員秘書
参・秋田	石井 浩郎議員秘書
衆・宮城1区	土井 享議員秘書
衆・宮城3区	西村 明宏議員秘書
衆・山形2区	鈴木 憲和議員秘書
衆・福島4区	吉野 正芳議員秘書
参・福島	星 北斗議員秘書
(秘書出席)	
衆・青森2区	神田 潤一議員秘書
参・宮城	桜井 充議員秘書



衆議院 福島1区
亀岡偉民議員



衆議院 福島3区
上杉謙太郎議員



参議院比例区岩手
広瀬めぐみ議員



参議院比例区宮城
桜井 充議員

この東北地区勉強会に関心を持ち、
衆議院議員 愛知県第12区 青山周平
議員が資料を頂きたいと訪問して下さ
いました。すごく嬉しいです。

議員・議員秘書の皆様、たくさんの参加ありがとうございました。

東北地区認定こども園等関係者22名

認定こども園子ども子育て政治連盟

田頭 初美	会長
加藤 泰和	副幹事長
天笠 昌明	常任幹事(東北担当)
真崎 啓	事務局長



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

小倉將信 前内閣府特命担当大臣 (こども政策担当) メッセージ



こども政策担当大臣の小倉將信です。

このたびは勉強会への参加が叶わず、ビデオメッセージという形になりますが、我が国の幼児教育・保育政策にご協力を頂いております皆様に一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、こどもの日々の成長に寄り添っていくという大変重要な役割を担って頂いている事に心から敬意を称します。

また新型コロナウイルス感染症の当初より、原則開所にご協力を頂き、社会経済を支えて頂きました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

認定こども園は制度創設以降、着実に園数が増加をしており、我が国における就学前のこどもの教育・保育において大変重要な位置を占めております。

認定こども園は、幼児教育・保育を一体的に行うという幼稚園と保育所の両方の良さを併せもった施設であり、まさにこども家庭庁が目指しているものを先駆けて実施をして下さっております。

政府としては現場の皆様がより働きやすくなるよう、力を入れてまいります。

先般、閣議決定された加速化プランにおいては、保育所保育士等の配置基準改善、民間給与動向等を踏まえた保育士等の更なる処遇改善、月一定時間までの利用可能枠の中で就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付として「こども誰でも通園制度」の創設などの施策が盛り込まれております。現場の皆様からは常に、保育人材の確保の必要性や負担が大きいとのお声を頂いており、骨太の方針においても保育人材の確保の強化と現場の負担軽減についての記載を盛り込んでおります。政府としてしっかりと力を入れ取り組んで参ります。

また今年はこども政策の国の基本的な指針となる「こども大綱」を年末までに策定する事といたしておりますので、こちらについてもしっかりと取り組んで参ります。

最後にこどもたちの健やかな成長と皆様の益々のご発展をお祈りいたしまして、御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

東北地区選出国議員の皆様と
認定こども園関係者による勉強会

「子ども子育てのより良い環境の構築のために」

2023/09/13 PM1:00～
認定こども園・子ども子育て政治連盟
会長 田頭 初美

ごあいさつ



本日は、大変ご多忙中にもかかわらず、東北地区の認定こども園関係者との勉強会に多数ご参加くださりまして誠にありがとうございます。

我々認定こども園をはじめとする就学前教育保育現場は、地域にとって、なくてはならない社会的機能として、持続可能な運営を堅持できるよう努力を続け、これからの日本を背負って立つ子どもたちの未来が少しでも明るいものとなるよう、子どもたちの命を守り育み、その保育の営みに全身全霊を傾けているところでございます。

岸田首相は施政方針演説の中で、日本の持続性や社会的包摂を考える上で「子ども・子育て政策」を最優先政策と位置づけ「次元の異なる少子化対策」の実現を打ち出しました。

どの地域においても就学前教育保育の場が真に必要なとされる社会資源の一つとして位置付けられるとともに、実効性のある子ども施策の必要性を痛切に感じております。

全ての子どもの最善の利益を追求し、自立した個人として健やかに成長できる社会の実現を目指して、日本の社会全体の問題として子ども施策に取り組んでいただくことを切に願っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

人口減少の加速化が進む東北

東北は、人口減ワースト5県が名を連ねており、「**過疎が加速**」しております。

東北6県の人口		
	人口	前年比減少率
青森	120万4000人	1.39%
岩手	118万1000	1.32
宮城	228万	0.44
秋田	93万	1.59
山形	104万1000	1.31
福島	179万	1.20

(注) 2022年10月1日時点

(出所) 総務省



国土交通省東北地方整備局の調査によりますと、東北地方は、

- ・人口規模の小さい市町村ほど人口の減少割合が大きく、高齢化率は高い
- ・有効求人倍率も全国平均より下回っており、雇用環境がいいとは言えない
- ・東北の県民所得平均額は253万と、全国平均を下回っており、大変厳しい

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

合計特殊出生率の低下が進む東北

厚生労働省が発表した2022年の人口動態統計によると、東北6県の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子どもの推定数)は、横ばいだった山形を除く5県で前年を下回った。

宮城県は前年比0.06ポイント低い1.09で、東京都に次いで全国で2番目に低かった。



東北6県のうち、前年から大きく低下したのは岩手、福島両県で、ともに0.09ポイント下がった。

出生率が全国平均(1.26)を上回ったのは、東北では山形、福島の2県にとどまった。

東北の合計特殊出生率 (2022年)		
	出生率	前年比
青森	1.24	▲0.07
岩手	1.21	▲0.09
宮城	1.09	▲0.06
秋田	1.18	▲0.04
山形	1.32	0.00
福島	1.27	▲0.09

(注) ▲はマイナス(出所)人口動態統計

東北の良さを知っていただくために

豊かな伝統・文化、自然風景など、特色ある資源が多く、観光入り込み客数は、増加傾向で推移しており、東北を訪れる外国人観光客も、少ないながら増加しているという。

自然、歴史、文化、食等の豊かな地域資源のなかで、のびのびと子育てできる環境が多く広がる東北の良さをもっと知っていただき、人口流出に歯止めをかけられるよう、さらには住んでみたいと思ってもらえるよう、何よりも、東北に住む我々が、もっと東北の魅力、東北地方での子育て環境の良さをPRしていくことが大事なのではないだろうか。

そのためにも、子ども子育て政策の課題を東北発で共に考え、地域の実情を踏まえながら、すべては子どもたちのために、子育て家庭のために、持続可能な地域の大事な資源となるべく、園運営を模索して参りたい。



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

人口減少地域等における認定こども園における問題点

1. 保育人材の問題

保育人材不足の問題

- ・様々な働き方の促進
- ・魅力ある職場づくり
- ・働き方改革
- ・地域の有資格者の把握
- ・登録制(保育バンク)
- ※保育職特化のハローワーク
- ・更なる処遇改善
- ・リターン人材を発掘する、つながる



保育人材過多の問題

- ・新年度新規採用者と入園児の数のバランスが崩れ、人材過多に陥っている園がある。
- ・加算以上の人員配置により経営が逼迫している園がある。
- そのため、正規雇用を減らさざるを得なくなり、保育の質の担保に少なからず影響が出ている。

6

子育て支援に対する加算の創出を

認定こども園における子育て支援

地域における子育て支援を行なう機能、すなわちすべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談や親子のつどいの場等を提供する機能を備えることが、**認定こども園の必須**である

子育て支援事業のナチュラルスタンダード化を目指して

- ・0～2歳児の通園の常態化
- ・未就園児の親子登園の常態化
- ・地域をつなぐプラットフォームとしての機能の充実
- ・様々な職種とのつながり
- ・必要と思われる職種と協働し、園の機能の多様化を推進する
(少子化到来とともに園の機能の充実を図る)
- ・職員の配置基準の見直し
- ・子育て支援事業の充実
- ・小中学生への子育てへの関心の啓発
- ・虐待防止のための窓口の強化(相談・シェルター機能)



主幹保育教諭の配置により、子育て支援を行うことが義務となっているが、子育て支援に特化した予算の位置づけがない。

少子化の加速とともに、**地域の子育て支援の重要性**はますます高まっていくと思われる。

2. 保育の質の問題

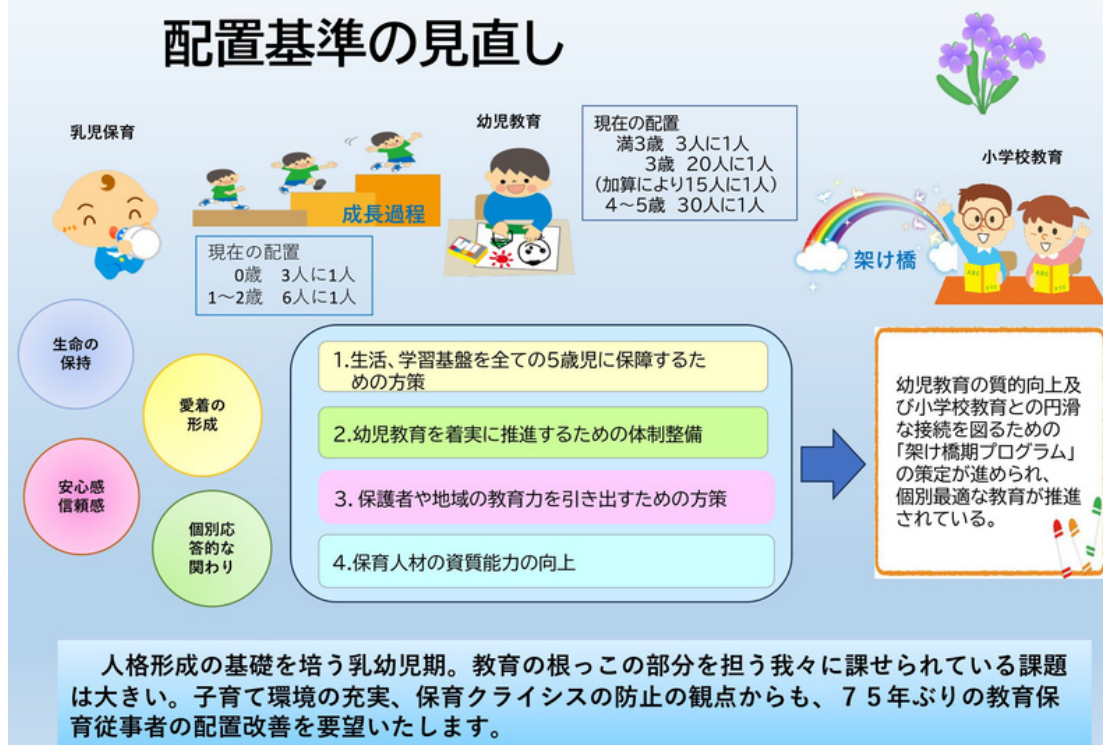
- ・集団の確保が困難になる
- ・保育教諭の確保が困難になる
- ・幼児教育のコアタイムにおける保育教諭の配置問題
- ・人材不足による資格要件の緩和(プラスにもマイナスにも)
- ・異年齢児との交流の不足
- ・選択肢の減少



NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

配置基準の見直し



更なる処遇の改善にむけて

処遇改善Ⅰ

保育士確保や保育の資質向上を目的として、2015年に導入。平均勤続年数などによって加算率が上がる仕組みです。

処遇改善Ⅱ

処遇改善に取り組む施設や事業所に対し、キャリアアップによる処遇改善に必要な費用を加算する施策です。

処遇改善Ⅲ

現場で働く方の給料の引上げに必要な費用を保育施設に対して補助する施策で2022年2月から導入され、月額平均9,000円(収入の3%程度)の引き上げが実施されました。



保育者の所得は一般企業より
約40,000円程度低いと言われております。

我々乳幼児教育の業務も多様化の時代を迎えております。地域のハブとなるべく多機能化への推進に加え、特別な支援を要する子どもへの保育の質向上など、課題が参先しており、保育人材の確保は喫緊の課題となっております。公定価格の基本分単価の引き上げや、加算の創出などにより、さらに処遇の改善が図られ、保育教諭の社会的地位の確立が推進されていくことを要望いたします。

NICO★NICO

認定こども園・子ども子育て政治連盟～認こ～Nico・Nico ニコニコ通信
子どもたちの笑顔を守りたい

第二次岸田第二次改造内閣及び自民党執行部に入られた 「認定こども園を推進する国会議員連盟」の皆様

農林水産大臣	宮下 一郎 (衆・長野5区)	副幹事長	新谷 正義 (衆・広島4区)
防衛大臣	木原 稔 (衆・熊本1区)	副幹事長	堀内 詔子 (衆・山梨2区)
内閣官房長官	松野 博一 (衆・千葉3区)	情報調査局局長	小林 史明 (衆・広島新6区)
経済再生担当大臣	新藤 義孝 (衆・埼玉2区)	衆議院議員総会会長	船田 元 (衆・栃木1区)
地方創生担当大臣	自見はなこ (参・比例区)	党紀委員会委員長	衛藤 晟一 (参・比例区)
内閣官房副長官	森屋 宏 (参・山梨)	組織運動本部本部長	金子 恭之 (衆・熊本4区)
内閣府副大臣	堀井 学 (衆・北海道9区)	団体総局局長	古川 禎久 (衆・宮崎3区)
財務副大臣	神田 憲次 (衆・愛知5区)	女性局局長	高橋はるみ (参・北海道)
文部科学副大臣	青山 周平 (衆・愛知12区)	青年局局長	藤原 崇 (衆・岩手3区)
環境副大臣	滝沢 求 (参・青森)	遊説局局長	三谷 英弘 (衆・神奈川8区)
防衛副大臣	宮澤 博行 (衆・静岡3区)	国会対策委員会副委員長	三ッ林裕巳 (衆・埼玉新13区)
内閣府大臣政務官	神田 潤一 (衆・青森2区)	政務調査会会長代行	田村 憲久 (衆・三重1区)
総務大臣政務官	小森 卓郎 (衆・石川1区)	政務調査会副会長	義家 弘介 (衆・神奈川16区)
総務大臣政務官	船橋 利実 (参・北海道)	政務調査会副会長	坂井 学 (衆・神奈川5区)
外務大臣政務官	高村 正大 (衆・山口1区)	政務調査会副会長	山下 貴司 (衆・岡山2区)
厚生労働大臣政務官	塩崎 彰久 (衆・愛媛1区)	参議院議員副会長	山本 順三 (参・愛媛)
国土交通大臣政務官	石橋林太郎 (衆・中国ブロック)	参議院議員副会長	松山 政司 (参・福岡)
		参議院政策審議会会長	福岡 資麿 (参・佐賀)
		参議院国会対策委員長	野上浩太郎 (参・富山)

2023年9月22日現在・敬称略



内閣府特命担当大臣
(こども政策担当)は、
加藤鮎子議員(衆・山形3区)が
就任いたしました。

編集後記

9月13日の勉強会から、わずか一週間後の19日に、秋田1区 富樫博之議員が名刺交換をした秋田市内のこども園を訪問して下さいました。

約1時間滞在しゆっくりと意見交換が出来たそうです。素早い対応に、びっくりすると同時に、地元議員のありがたさを感じました。

東北地区の勉強会でも思いましたが、現場の声を少しでも早く、国に挙げていく事の大切さを学ばせて頂きました。
(天笠)



富樫議員(中央)と
認定こども園職員

発行人 認定こども園・子ども子育て政治連盟広報
会 長 田頭 初美
副会長(広報担当) 東口 房正
広報部会 寺尾 好洋
広報部会 天笠 昌明
事務局長 真崎 啓